

男子誕生を祝す（本宮三香）

忽ち呱呱を聴く喜び知るべし

君家の瑞兆 男児を挙ぐ

児や 応に 青雲の 志を 抱くべし

恭しく 康寧を 祝して 一卮を 献ぜん

忽聴呱呱可喜知 君家瑞兆舉男兒
兒兮應抱青雲志 恭祝康寧獻一卮

解説 男子が誕生した喜びを詠った詩。

語釈 ※忽〓 呱呱〓 生まれたばかりの赤ん坊の泣き声。 ※瑞兆〓 めでたい前兆。 ※青雲志〓 手柄をたて立身出世をしようと望む心。 ※恭〓 丁寧で礼儀正しい。 ※康寧〓 安らかなこと。 平穩無事であること。 ※一卮〓 さかずき。

通釈 生まれた子供の声を聞いては、その喜びの程もさぞかしく察しますが、君の家ではお目出たい男子が誕生したのである。この子は生まれながらにして星雲の志を抱いている事であろう。ここに恭しくご健康を祝して喜びの酒を献じましょう。